

果樹病虫害発生予察調査結果（6／10調査分）
（三条、加茂、田上地域）

6月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 有効積算温度による予測では、ナシヒメシンクイの**1世代成虫の発生盛期は6月12日頃、第2世代幼虫の防除時期は6月19～21日頃**と予測されます。
- 今回調査でハダニ類の発生は確認されませんでした。管内の一部地域で発生が確認されています。今後高温乾燥傾向が続く場合、発生が増加するため注意が必要です。特に主幹近くの葉裏を丁寧に観察しましょう。
- ニセナシサビダニによる被害が一部園地で確認されました。**6月中旬が防除適期**となりますので、適期防除に努めましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに100新梢、100果を調査しました。

- 花腐細菌病の発生が増加傾向となっています。り病枝はせん除し、園外で処分しましょう。
- 今回調査で、黒星病の発生は確認されませんでした。り病葉・り病果を発見したら摘み取り園外で処分しましょう。今後、梅雨入りすると雨天や多湿の日も多くなりますので、園内の過湿を防ぎ通風をよくすることも大切です。新梢管理や排水改善にも努めましょう。
- セイヨウナシ褐色斑点病の発生が確認され、増加傾向となっています。り病葉・り病果を発見したら摘み取り園外で処分するとともに、果実被害を予防するために**早期の袋かけ**をお願いします。
- アブラムシの寄生が一部園地で確認されています。寄生を発見した場合は、寄生部位は摘み取り園外で処分するとともに、薬剤防除を行う場合は抵抗性を抑制するため、同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。

(モ モ)

調査地点ごとに100新梢、100果を調査しました。

- **せん孔細菌病**の発病葉が確認されています。り病した枝・葉・果実はせん除し、園外で処分するとともに、**袋かけや新梢管理も早期に行いましょう。**
- **ナシヒメシンクイ**による新梢先端部の心折れは確認されませんでした。発見した場合は、果実への食害を防ぐため、適期防除に努めましょう。また、被害部位はせん除し、園外で処分しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、被害つる数を調査しました。

- **灰色かび病**は確認されませんでしたでしたが、過湿状態で発生しやすいため、通風状況に注意し新梢管理等に努めましょう。
- 今回調査で果実被害は確認されませんでしたでしたが、今後の降雨や暑さによる病害虫の多発生が懸念されますので、できるだけ**早期の傘かけや袋かけ**をお願いします。

次回調査は6月25日(木)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020